

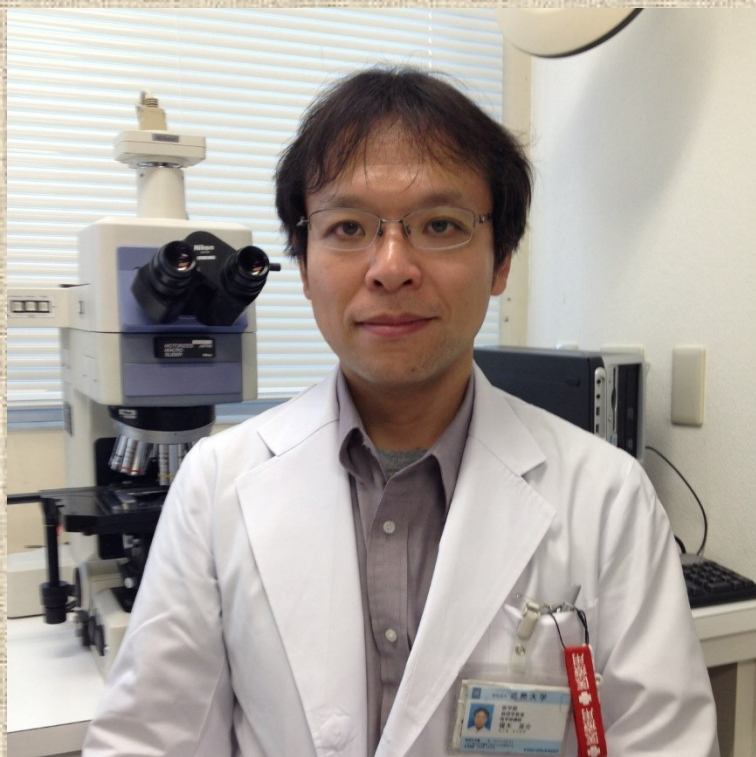
# 特別講演会

平成28年度 滋賀県立大学 環境科学研究科  
研究倫理教育セミナー第7回

講師：榎木英介氏

(近畿大学医学部病理学教室講師)

申込み不要  
一般来聴歓迎



## プロフィール

1971年横浜生まれ。元理科少年。東京大学理学部生物学科動物学専攻卒業後、大学院博士課程まで進学したが、研究者としての将来に不安を感じ、一念発起し神戸大学医学部に学士編入学。卒業後病理医になる。兵庫県内の病院勤務を経て、現在近畿大学医学部附属病院臨床研究センター講師。病理医として日夜働くと同時に、若手研究者のキャリア問題や、医療のあり方を考える活動を行っている。「博士漂流時代」(テイスカヴァー・トゥエンティワン)にて科学ジャーナリスト賞2011受賞。著書に「医者ムラの真実」(テイスカヴァー・トゥエンティワン)、「嘘と絶望の生命科学」(文春新書)ほか

Yahoo! JAPAN ニュースで、「榎木英介のサイエンス&メディカルニュースウォッチ」連載中

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/enokieisuke/>



生命科学ではなぜ研究不正が多発するのか  
～背景にある過度な競争とアカデミックハラスメント

日時：1月19日(木)18:10～19:40(終了予定)

場所：滋賀県立大学(滋賀県彦根市八坂町2500)

A7-101講義室

研究不正は医学・生命科学で多く発生している。この背景には、この分野の研究者数が多い割に安定したポストが少なく、研究費獲得も含め、極めて厳しい競争環境におかれていること、成果を出すことを強要するあまり、部下に過度な仕事量を要求するPIの存在がある。こうした現状を概説し、どうすれば研究不正を減らすことができるか議論したい。

主催：滋賀県立大学環境科学部 研究倫理教育セミナー実施委員会  
お問い合わせ：原田英美子(滋賀県立大学・環境科学部・生物資源管理学科)  
Tel: 0749-28-8322, Email: harada.e@ses.usp.ac.jp